

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
国公立対策講習	2	3年 1類 (A・B・C型)	希望選択
授業担当者	教科書名		副教材等
HHHHHHH	国語：共通テスト対策問題集など 英語：適宜ハンドアウト		国語：共通テスト対策問題集など 英語：単語帳、総合英語など

<p>科目の到達目標</p> <p>国語：昨年の過去問題や共通テスト対策問題の演習を重ねて学力の充実を図り、入試問題を解く力を高める。</p> <p>英語：共通テストにおいて6わり以上の正答率を得るため、予想問題に慣れながら会話や長文の英語を速く読むこと、正確に聞くことができるようになるのが目標である。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>国語・英語の出席状況と積極的な授業参加、および課題や小テストへの取り組みなどをもとに、総合的に評価する。</p>

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	1学期 ・問題演習	<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を固め、入試に対応できる力を養う。 基礎・基本を意識して、演習形式の問題に取り組む。 	<p>国語</p> <p>現代文</p> <ul style="list-style-type: none"> 速読をして要旨（文章の大枠）をつかむ。 語彙を増やし、漢字の意識を深める。 <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文単語や古典文法などの基礎を繰り返し確認する。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> 句法などの基礎を確認する。
	5			
	6			
	7	夏期講習	<p>英語</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語・熟語・文法・構文など、入試問題を解くために必要な基礎知識を徹底的に身に付ける。 	<p>英語</p> <ul style="list-style-type: none"> ユメタン、Next Stage などを用いて、演習と解説を行う。

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	2学期 ・入試過去問題集 ・共通テスト予想問題	国語 ・入試過去問題や昨年の共通テスト問題などの演習を重ねて、学力の充実を図る。 ・解答時間を意識し、その感覚を身に付ける。	国語 ・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を導く力を身に付ける。 ・マークシート形式に慣れ、対応できるように取り組む。
	10	・共通テスト直前対策		・論理的な文章・文学的な文章・古文・漢文の大問4問を80分以内で解くための時間配分や順序をそれぞれ確立させる。
	11		英語 ・共通テスト本番の感覚を身に付ける。	英語 ・共通テストの過去問題や類似問題に数多く当たることによって、問題に慣れ、時間の感覚を身に付ける。
	12	冬期講習		
三 学 期	1	14日・15日 共通テスト		
	2			
	3			
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）</p> <p>国語：昨年度より使用している古文・漢文のテキストは適宜活用し、必要であれば持参してください。</p> <p>英語：講習を受けていれば成績が上がるものではありません。伸びるかどうかは自宅や寮でどれくらい自ら取り組むか次第です。</p>				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
進学講習 (数学 IA)	2	3年・I類・A, B, C型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
HHHHHHH	なし	なし	

科目の到達目標
・基礎～標準の問題演習で、数学 IA の総復習及び授業の演習を行う。まずは、定義や定理、公式などの基本的な事項もしっかりと確認する。
さらに、代表的な標準問題を理解し、解法やテクニックを身に付ける。最終的には医療系のレベル入試問題が十分に解けるようになることを目標とする。

評価の観点と方法について
「関心・意欲・態度」「数学的な見方や考え方」「表現・処理」「意識・理解」の4つの観点に基づいて、平素の学習意欲や学習態度を重要視して、基本的な知識の理解度、技能の習熟度、思考力、表現力を、課題プリント、レポート、小テスト 等で評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	数学 IA の問題演習 数と式	公式や定理などの基本事項の確認。 演習問題が解けるようになる。	確認問題の小テストを行い、基本事項の確認を行う。 演習問題に取り組む。	予習、復習を行っているか。
	5	集合と命題 2次関数			
	6	図形と計量 データ分析			
	7	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質			
二学期	9	数学 IA の問題演習	実践問題が解けるようになる。	実践問題を用いて演習をする。 医療系専門学校の過去問演習をする。	予習、復習を行っているか。
	10	数 B 演習	受験が終わった生徒が増えると思われるので基礎学力者を対象に授業の補習を行う。 定期考査対策を行う。	その他	授業で学習した問題が、身につけているか。 問題を解く力がついているか。
	11				
	12				
三学期	1	個別試験対策・授業演習 (学年末考査)	低学力者対象の学力補充	個別試験問題演習	

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)
毎回の授業では、予習してあることを前提とし、問題の解説を進めていく。授業を聞いているだけでは計算力、実力は絶対につかない。やらされる勉強ではなく、自ら自発的・積極的に数多くの問題を解くことによって、入試に対応できる力がついてくる。見せかけの勉強は必要ない。
質問は歓迎する。自分の目標を定め、それに向かって努力して、確実に実力をつけてもらいたい。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
課外講習 (英語進学)	2	3年I類	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
HHHHHHH	全国私立大学英語過去問題		Stock3000 文法・語法問題集

科目の到達目標
中堅私立大学の推薦入試、一般入試に合格できる程度の英語力を身につける。

評価の観点と方法について
出席日数及び授業での取り組みにて評価する。

	月	学習単元・項目	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	各大学の入試過去問題	授業で扱う問題のレベルは実情に合わせて決定する。 様々な形式の問題に触れながら、語彙と文法・語法の基礎力を身につける。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容、小テストの結果によって評価する。
	5			②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →提出物の取り組み状況によって評価する。
	6			
	7			

	月	学習単元・項目	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9			
	10			
	11			
	12			
三 学 期	1			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

入試問題演習を中心とした授業の中で、自分自身の問題点や課題を確認しましょう。それらを日々の家庭学習にしっかりと結びつけることが大切です。その中で生まれる疑問に対しては、休み時間や放課後を利用し質問に足を運んでください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語 基礎講習	2	3年1類	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
HHHHHHH	WORLD TREK New Edition TREASURE HUNT 2 New Edition		be English Grammar 26 be workbook 26 総合英語 Vision Quest Stock 3000

科目の到達目標

授業の理解を深めるために英文法の基礎を身に付ける。
 反復練習を繰り返して、日々の授業内容をしっかり定着させる。
 英語の学習習慣を身に付ける。

評価の観点と方法について

出席の状況、講習への取り組みの態度、小テストの内容等を総合的に判断する。
 特に出席状況と講習中の取り組みの態度を重視する。

	月	学習のねらい (学習単元)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	be English Grammar 26 be workbook 26 Lesson 1 英語の語順 (1) Lesson 2 英語の語順 (2)	授業を理解するために必要な 文法の基礎を復習する。	① 休まず出席しているか。 ② 積極的に活動しているか。
	5	Lesson 4 時制 (1) Lesson 5 時制 (2) <中間考査>	① 説明を聞き、理解する。	③ 正しく理解しているか。
	6	Basic 1 名詞と限定詞 Basic 2 形容詞と副詞 Lesson 13 不定詞 (2) Lesson 14 不定詞 (3) Lesson 16 動名詞 (2)	② 付属のワークや教科書の 問題を使って演習し、理解 度を確かめる。	④ 小テストの勉強をしてい るか。
	7	<期末考査>	③ 小テストで確認する。	

	月	学習のねらい (学習単元)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 17 分詞 (1)	1学期に同じ	1学期に同じ
	10	Lesson 18 分詞 (2)		
		準動詞のまとめ ＜中間考査＞		
	11	Lesson 19 関係詞 (1)		
		Lesson 20 関係詞 (2)		
	12	Lesson 21 関係詞 (3) ＜期末考査＞		
三 学 期	1	総復習 ＜学年末考査＞	1学期に同じ	1学期に同じ

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

最も大切にしてほしいことは普段の授業です。授業をしっかりと受け、自ら理解しようとする気持ちがなければ、講習だけを受けても成績は改善されません。この講習では授業の内容を復習し、分からないところが分かるようになることを重視しますので、1回、1回の講習を大切にしてください。そして、出された課題や小テストの勉強に一生懸命取り組んで下さい。しかし、授業を聞いていても理解するのが難しいところが出てくるかも知れません。分からないことはそのままにしておかず、その都度質問して解決するようにしてください。理解してもらえらるまで何度でも説明しますので、遠慮なく質問してください。基本的には単元が終わるごとに小テストを行って理解度をチェックします。何度も繰り返し問題を解いて、本番の定期テストで良い点を取れるように頑張りましょう。